

# ちょっと ブレイク しませんか？

第 17 回



## キング・オブ・コメディ [1983年 米国]

イソップ寓話集に「法螺吹(ほらふき)」と題する小話がある。国ではいつも、もっと男らしくやれ、とケチをつけられていた五輪競技の選手が、ある時海外遠征に出て、暫くぶりで戻ってくると、大言壮語して、あちこちの国で勇名をはせたが、殊にロドス島では、オリンピア競技祭の優勝者でさえ届かぬ程のジャンプをしてやった、と語った。もしもロドスへ出かけることがあれば、競技場に居合わせた人が証人になってくれよう、とつけ加えると、その場の一人が遮って言うには「おい、その兄さん、それが本当なら、証人はいらぬ。ここがロドスだ、さあ飛んでみる」

TVの人気芸人ジェリー(ジェリー・ルイス)が、収録を終えて劇場から出て、リムジンに乗り込んだジェリーの後から、ルパート(ロバート・デ・ニーロ)も一緒に乗り込む。ルパートは「自分もジェリーのようなコメディアンになりたい」と初対面なのにずうずうしく自己紹介。ジェリーは、うんざりしながらオフィスに電話してくれといなす。そんなジェリーの本心をまるで察しないルパートは、人気芸人になった自分を夢想する。翌日、ルパートはジェリーのオフィスに電話するが、会議中ということで取り次いでもらえない。直接、オフィスに行き受付係と交渉し、やっと秘書のキャシーに会うことができた。キャシーに「漫談のテープを聞かせてもらえたら」と言われ、ジェリーはデモ・テープを作って、キャシーに手渡す。翌日、キャシーからパンチが足りないと言われて、ルパートは反論、直接ジェリーに会おうとしてオフィスに入り込み、つまみ出される。週末、ルパートはジェリーの別荘へ行き、彼から「連絡してくれと言ったのは、追い払いたかったからだ」と聞き、一瞬落ち込む。遂に彼はジェリーを誘拐し、ジェリーの代わりに今夜のTVに出演させると脅迫。司会者が、ルパートを紹介し、ルパートは漫談を喋った。TVで自分の晴れ姿が放映された頃、ジェリーは解放される。ルパートは誘拐罪で懲役6年を求刑された。服役中に回想録『一夜だけの王様』を執筆して、ベストセラーに。釈放されたルパートはTVで本物の喜劇王になった。

「将来は総理大臣」「未来の社長」を豪語する法螺吹の若者が減っている。2012年は山中伸弥氏がノーベル医学生理学賞を受賞した。整形外科医の時は不器用で「ジャマナカ」と、ネズミ相手の実験ばかりで「ヤマチュウ」と揶揄にされたが、めげずに4つの遺伝子が人工多能性幹細胞に不可欠であることを発見し、iPS細胞の生成に成功した。山中氏は法螺吹とは正反対の謙虚で地味な人柄だ。TV芸人ならば「キング・オブ・コメディ」のように、有名になること=才能と勘違いしているナルチストが多い。しかし、サイエンスの世界ではそうはいかない。いずれにしても、事実による証明が手近にある時は、言葉は要らない、ということがこの小話は説き明かしている。

精神科医・映画評論家

かゆ かわ ゆう へい  
粥川 裕平

国立大学法人名古屋工業大学  
大学院産業戦略工学専攻教授

